

研修会番号 G0400

令和3年度長期研修研究発表会実施要項

1 目的

本県の教育課題の解決に向けた長期研修員による実践的研究の成果を広く教育関係者に公開し、その理解と普及を図ることにより、教育活動の充実・発展に資する。

2 主催

宮城県教育委員会

3 対象

県内の公私立の小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員（仙台市立学校を除く。），教育行政機関の職員，他所長が参加を認めた者。

4 期日

令和4年2月8日（火）

5 会場

宮城県総合教育センター
名取市美田園二丁目1-4

6 時程

9:00	10:00	10:35	12:45	13:30	14:00	15:25		
	9:45	10:25	11:45	13:15	13:50	15:15 15:35		
受付	開会行事	全体会 【専門研究】 各研究グループの概要説明	分科会Ⅰ 【専門研究】 研究内容の説明及び質疑応答	昼食 休憩	分科会Ⅰ 【専門研究】 研究内容の説明及び質疑応答	【課題解決研修】 今年度の取組の説明及び質疑応答	分科会Ⅱ 【実践力向上研究】 研究内容の説明及び質疑応答	閉会行事
1階 ラウンジ	3階 第1, 2, 3, 4 研修室							

※時程，会場，発表内容等については，別紙「時程及び会場」「令和3年度長期研修研究主題・副題一覧」「令和3年度課題解決研修研究主題・副題一覧」参照。

7 発表者

令和3年度	専門研究	(1年間)	20名	(研究グループごと)
〃	実践力向上研究	(20日間)	16名	
令和2年度	専門研究	(1年間)	15名	(研究グループごと)
〃	長期研修員A	(6月間)	5名	(紙上発表)
〃	長期研修員B	(20日間)	10名	(紙上発表)

8 その他

- 発表に対する感想・質問等の提出に，タブレット型端末やスマートフォンを活用します。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大等状況に関する対応について
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大等の状況により，発表会を中止する場合には速やかに通知します。また，急遽中止を決定した場合には，発表会当日の朝6時までに総合教育センターホームページでお知らせします。
 - 国や県の基本的対処方針に応じて発表方法等を変更する場合がありますので承知願います。

時程及び会場

時間	内容	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室
9:45 ～9:55		【開会行事】			
10:00 ～10:25	【全体会】 専門研究 各研究グループによる 概要説明 5分間	専門研究 1 外国語教育研究グループ 2 道徳教育研究グループ 3 理科教育研究グループ 4 情報教育研究グループ 5 特別支援教育研究グループ			
移動					
10:35 ～11:05	【分科会Ⅰ】 専門研究各グループ 発表 20分間 質疑応答 10分間	分科会A 外国語教育研究グループ 飯田 明日香 原田 都加 佐藤 拓也 尾形 和正 近江 克哉	分科会B 道徳教育研究グループ 阿部 さやか 岡 拓真 吉田 成行 渡邊 真一		
休憩					
11:15 ～11:45	発表 20分間 質疑応答 10分間	分科会C 情報教育研究グループ 佐々木 良彰 山谷 崇文 及川 竜一 中村 功	分科会D 理科教育研究グループ 中村 早苗 小松 隆 日野 真介 遠藤 拓海		
昼食・休憩					
12:45 ～13:15	発表 20分間 質疑応答 10分間	特別支援教育研究グループ 佐久間 健悦 澁谷 真樹子 遠藤 彰			
休憩・移動					
13:30 ～13:50	課題解決研修（専門研究） 5つの研究グループが 今年度の取組を発表 後、質疑応答 発表 5分間 質疑応答 5分間	(会場準備)	課題研 外国語教育研究 グループ	課題研 道徳教育研究 グループ	課題研 特別支援教育研究 グループ
休憩・移動					
14:00 ～14:15	【分科会Ⅱ】 実践力向上研究修員	分科会① 小／国語 植田 光貴	分科会② 中／社会 千葉 真史	分科会③ 小／情報・算数 山中 大	分科会④ 中／道徳 植松 信行
14:20 ～14:35	各研修員による発表 10分間	高／国語 遠藤 睦実	高／地理歴史 横山 将	中／数学 市川 翔	中／特別活動 畑中 麻衣子
14:40 ～14:55	参加者との質疑応答 5分間	小／外国語 大島 貴志	小／図画工作 佐藤 哲平	小／情報・理科 福田 圭吾	支／特別支援教育 菅原 彩
15:00 ～15:15	(15分×4人)	中／外国語 長沼 由香里	小／体育 佐々木 秀	中／理科 大越 健雄	支／特別支援教育 佐藤 なほ子
15:25 ～15:35	【全体会】	【閉会行事】			

《課題解決研修（令和2年度 長期研修員）》 ※長期研修A及びBについては、紙上発表のみ。

専門研究	(1) 外国語活動研究グループ	高橋 芳徳 加藤 良典 高橋 幸恵 阿部 真弓
	(2) 道徳教育研究グループ	佐藤 るみ 佐々木千春 太田 絵美 西井 鮎美
	(3) 理科教育研究グループ	狩野 雅彦 堀田 一真 上長根伸哉
	(4) 情報教育研究グループ	岡本 悠弥 吉岡 英也
	(5) 特別支援教育研究グループ	手代 翼 西堀 慈子
長期研修A	八木 庸介 鎌田 美沙絵 佐々木 修子 小野寺 紀子 門脇 和歌子	
長期研修B	菊地 芙美子 佐藤 裕太 佐藤 裕一 尾身 夏輝 後藤 由紀 井間 律子 宮川 瑞基 浅野 伸一郎 及川 育美 及川 史子	

令和3年度長期研修研究主題・副題一覧

【専門研究】 期間：1年間

外国語教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
飯田明日香	蔵王町立宮小学校	英語で自分の考えや気持ちを伝え合う児童生徒を育てる授業づくり －小・中・高等学校の系統性を踏まえた「話すこと[やり取り]」の指導の充実を通して(1年計画)－
原田 都加	柴田町立船岡小学校	
佐藤 拓也	塩竈市立第二中学校	
尾形 和正	大崎市立鹿島台中学校	
近江 克哉	宮城県松島高等学校	

道徳教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
阿部さやか	亘理町立亘理小学校	自己を見つめ、在り方生き方を考える児童生徒を育てる授業づくり －発達段階に応じた道徳科の指導方法の工夫を通して－
渡邊 真一	石巻市立石巻小学校	
岡 拓真	東松島市立矢本第一中学校	
吉田 成行	宮城県登米高等学校	

理科教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
中村 早苗	大衡村立大衡中学校	児童生徒の問題発見・解決能力の育成を目指して －科学巡回における STEAM 教育の実践を通して－
遠藤 拓海	大崎市立古川第一小学校	
小松 隆	東松島市立矢本第二中学校	
日野 真介	宮城県泉高等学校	

情報教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
佐々木良彰	富谷市立あけの平小学校	GIGAスクール時代に求められる児童生徒の情報モラルの育成 －動画で学べる情報モラル育成パッケージ「#60秒情報モラル」の作成とその活用の提言を通して－
山谷 崇文	栗原市立金成小中学校	
及川 竜一	気仙沼市立条南中学校	
中村 功	宮城県石巻西高等学校	

特別支援教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
佐久間健悦	石巻市立鹿又小学校	知的障害教育における「育成を目指す資質・能力」を踏まえた学習指導と学習評価 －「みやぎ授業づくりガイド」の作成と活用を通して(1年目/2年計画)－
遠藤 彰	宮城県立光明支援学校	
澁谷真樹子	宮城県立支援学校女川高等学園	

【実践力向上研究】 期間：20日間

氏名	所属校	教科・領域	研究主題・副題
山中 大	大河原町立金ヶ瀬小学校	情報教育 (算数科)	根拠を基に相手に伝える力を育てる指導のあり方 －算数科における既習事項の活用と数学的な表現の工夫を通して－
市川 翔	丸森町立丸森中学校	数学科	生徒が数学的な見方・考え方を働かせながら、知識及び技能を習得できる授業づくりを目指して －数学的な性質を発見させる問題提示と数学的活動の工夫を通して－
福田 圭吾	名取市立下増田小学校	情報教育 (理科)	問題を科学的に解決する児童の育成を目指して －ICTを活用した理科の見方・考え方を働かせる指導の工夫を通して－
畑中麻衣子	名取市立みどり台中学校	特別活動	自主的・実践的によりよい集団を築こうとする学級づくりを目指して －課題の設定から振り返りまでの一連の活動における学習過程の充実を通して－
千葉 真史	富谷市立富谷第二中学校	社会科	互いに高め合う環境の中で、よりよく考え表現することができる生徒の育成 －社会的事象の因果関係を考察する学習を通して－
長沼由香里	亶理町立吉田中学校	外国語科	英文を正しく読み取り、自分の考えや意見を持つことができる力を育てる指導の工夫 －3学年の読み物教材における発問を工夫した段階的な指導を通して－
植松 信行	松島町立松島中学校	道徳科	自己を見つめ、道徳的価値についての理解を深める授業を目指して －交流メモの活用から考えの深まりを感じさせる振り返りの工夫を通して－
植田 光貴	利府町立利府小学校	国語科	自分の思いや考えを適切に表現することができる児童の育成 －読み手を意識した、ICTを活用する「書くこと」の指導を通して－
大島 貴志	栗原市立若柳小学校	外国語科	単元のゴールを意識し、英語で自分の思いを伝え合うことができる授業を目指して －児童が主体的に取り組む学習活動を通して－
大越 健雄	登米市立東和中学校	理科	理科の見方・考え方を働かせ問題を見いだす力を育む学習指導 －イメージマップを用いた課題の設定を通して－
佐々木 秀	石巻市立大街道小学校	体育科	自ら課題を見付け主体的に課題解決に取り組む児童の育成を目指して －体育科におけるバディシステムを取り入れた授業づくりを通して－
佐藤 哲平	石巻市立和渕小学校	図画工作科	自分の思いを大切に、見方・感じ方を深め、意味や価値をつくりだせる児童の育成 －図画工作科における共通事項を意識した対話型鑑賞の授業づくりを通して－
横山 将	宮城県涌谷高等学校	地理歴史科	主体的に歴史を学び、歴史と自己との関わりを追究する生徒の育成を目指して －単元全体に関わる「見通し・振り返りシート」の活用を通して－
遠藤 睦実	宮城県迫桜高等学校	国語科	考えを効果的に表現しようとする力を育成する授業を目指して －視覚的工夫を用いた「書くこと」の学習過程を通して－
菅原 彩	宮城県立山元支援学校	特別支援教育	発語のない児童のコミュニケーション手段を広げ、思いを伝える力を伸ばす指導 －ICT機器の活用を通して－
佐藤なほ子	宮城県立名取支援学校	特別支援教育	音や音楽を聴いて自分の思いをもち、自ら表現する授業を目指して －イメージを膨らませる場面づくりの工夫を通して－

令和3年度課題解決研修研究主題・副題一覧

【令和2年度長期研修員（専門研究）】

外国語活動研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
高橋 芳徳	名取市立第二中学校	自分の思いや考えを伝え合うことができるこどもを育成する外国語科の授業づくり —小学校外国語科における目標・指導・評価をつなぐ3つの方法の提案を通して（1年計画）—
加藤 良典	大崎市立三本木小学校	
高橋 幸恵	登米市立佐沼小学校	
阿部 真弓	宮城県古川黎明高等学校	

道徳教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
佐藤 るみ	角田市立桜小学校	よりよく生きるための基盤となる道徳性を育む道徳科の授業づくり —「考え、議論する道徳」を目指したサポートブックの活用と充実・改善を通して（2年次／2年計画）—
佐々木千春	柴田町立船迫中学校	
太田 絵美	多賀城市立城南小学校	
西井 鮎美	大和町立鶴巣小学校	

理科教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
狩野 雅彦	柴田町立槻木中学校	児童の問題解決の力を育成する理科指導力の向上を目指して —「みやぎ理科支援ナビ」の活用・普及を通して（2年次／2年計画）—
堀田 一真	登米市立中田中学校	
上長根伸哉	気仙沼市立階上中学校	

情報教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
岡本 悠弥	利府町立利府中学校	協働学習・個別学習における児童の情報活用能力の育成 —ICT活用計画サポートパック「+タブレ・マネージャー」の作成と活用の提言を通して（2年次／2年計画）—
吉岡 英也	加美町立西小野田小学校	

特別支援教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
手代 翼	涌谷町立月将館小学校	高等学校における通級による指導の導入に向けた実践的研究 —「高校通級スタートパック」の活用を通して（1年計画）—
西堀 慈子	宮城県立名取支援学校	

【令和2年度長期研修員（長期研修A）】

氏名	所属校	教科・領域	研究主題・副題
八木 庸介	利府町立利府小学校	生徒指導	児童の自己指導能力を高める指導の在り方 —生徒指導の三機能を生かした取組を通して—
鎌田美沙絵	大郷町立大郷小学校	算数科	「数学的な見方・考え方」を働かせ、意欲的に課題解決に取り組む児童の育成 —日常生活に即した問題提示の工夫を通して—
佐々木修子	大崎市立古川第一小学校	教育相談	教師の気付きを共有し、支援につなぐ教育相談の在り方に関する研究 —小・中の引継ぎを視野に入れた教育相談体制づくりを目指して—
小野寺紀子	登米市立北方小学校	国語科	自分の考えを深め、伝え合うことのできる児童の育成 —「話すこと・聞くこと」の授業づくりと系統的・段階的な指導の工夫を通して—
門脇和歌子	石巻市立中里小学校	国語科	叙述を基に、自分の考えを持つ児童の育成 —良好な人間関係づくりを土台とした「読むこと」の単元構想を通して—

【令和2年度長期研修員（長期研修B）】

氏名	所属校	教科・領域	研究主題・副題
菊地芙美子	白石市立東中学校	国語科	生徒自らがより適切な表現を追求する授業を目指して —「書くこと」における学習活動と単元構想の工夫を通して—
佐藤 裕太	柴田町立槻木小学校	体育科	児童が試行錯誤を重ねながら、思考を深める授業を目指して —運動との多様な関わりを意図的に取り入れた実践を通して—
佐藤 裕一	亶理町立亶理中学校	国語科	自分の考えをよりよく伝えられる授業を目指して —言語活動の指導の工夫(練り合い)を通して—
尾身 夏輝	多賀城市立多賀城小学校	算数科	「みんなで考えたから分かった」と実感できる算数の授業を目指して —斉指導における話合いの指導の工夫を通して—
後藤 由紀	仙台市立錦ヶ丘小学校	音楽科	音楽の生み出すよさや面白さを学び合いながら味わって聴く授業を目指して —音楽を形づくっている要素を手掛かりにした学びの工夫—
井間 律子	富谷市立日吉台小学校	特別活動	多様な考えを認め合う児童の育成を目指して —学級活動における合意形成までの話合い活動の工夫を通して—
宮川 瑞基	大崎市立鹿島台中学校	数学科	根拠を明確にししながら自分の考えを数学的に表現できる生徒を育成する授業を目指して —数学的な見方・考え方を働かせる発問の工夫を通して—
浅野伸一郎	石巻市立石巻中学校	道徳科	言語活動の充実を図り、多面的・多角的な考えを引き出せる授業を目指して —自分と他者とのつながりが残る道徳ノートの活用を通して—
及川 育美	女川町立女川中学校	道徳科	自己を見つめ、多様な考えに触れながら道徳的価値について考える授業を目指して —多面的・多角的に考えさせる発問の工夫を通して—
及川 史子	南三陸町立戸倉小学校	外国語科	主体的に英語で自分の考えや気持ちを伝え合う授業を目指して —3つの対話活動を取り入れた単元構成を通して—

重要

研修会受講者の皆さんへ

新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ

宮城県総合教育センター

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の点に十分留意し研修に参加するようお願いします。

【研修会 前日まで】

次に該当する場合は、受講をご遠慮ください。

- 感染者又は濃厚接触者である疑いがある場合
- 校内で陽性者が発生し学校休校措置の場合
- 校内のPCR検査対象者の結果が陰性と確認されていない場合
- 発熱や風邪症状（咳、倦怠感、味覚・嗅覚の異常等）がある場合

【研修会 当日】

- 研修会当日の朝に検温と体調の確認をお願いします。
 - 37.5度以上の場合は、参加できません。
 - 発熱や風邪のような症状を感じた場合も、参加できません。
- マスクの使用など咳エチケットに十分に留意してください。
- 感染症の拡大等で研修会が実施できない場合は、午前6時30分までに当センターFacebook（当センターホームページから確認可能）にてお知らせしますので、確認をお願いします。

【研修会 終了後】

- 2週間以内に、感染症の症状やその疑いがある場合は、所属長を通じて速やかに研修会担当まで連絡いただくようお願いします。

当センターでは、新型コロナウイルス感染症防止のため、以下の事項に留意し保健管理や環境衛生を良好に保つよう研修会運営に務めます。

- ① 研修室の換気に留意する
- ② 多くの人が手の届く距離に集まらないように配慮する
- ③ 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える

担当：企画推進班

電話：022-784-3548

様式6

大学用（記入不要）

[宛て先] 宮城県総合教育センター所長 宛て （研究推進第一班扱い）	[件名] 令和3年度 長期研修 研究発表会について（回答）	令和 年 月 日 [大学名] <hr/> [担当部署] <hr/> [担当者]（職・氏名）
---	---	--

参加希望者は、次のとおりです。

No.	所属名	氏名	分科会 ^{※1}		電子メールアドレス ^{※2}	備考
			I	II		
例	国際学部教養学科	杜下 関郎	A・C	④	◇◇◇◇◇@×××.×.×	
1						
2						
3						
4						
5						
6						

※1 主に参加を希望する分科会記号・番号を記入願います。

※2 研究発表会についての情報提供を必要に応じて行いますので、参加者それぞれの電子メールアドレスを記入願います。